

1. 一般社団法人日本病理学会平成30年度秋期特別総会のご通知(正会員各位)

来る平成30年11月22日(木)14時20分より15時20分まで呉市文化ホール(広島県呉市)に於いて、一般社団法人日本病理学会平成30年度秋期特別総会(社員総会)を開催いたします。下記事項の審議となりますので、是非ともご出席くださいますようお願い申し上げます。本状に社員総会出欠葉書(委任状を含む)を同封させていただきました。出席の如何にかかわらず、必要事項をご記入の上、11月5日(月・必着)にて必ずご投函くださいますようお願いいたします。特にご欠席の場合には、この葉書が委任状となり、総会成立のための必要書類となります。なお、期日までに葉書のご提出がない会員には、事務局もしくは担当理事よりメールまたは電話にて提出のお願いを差し上げる場合がありますのでご協力下さい。

記

議題

- 平成31年度事業計画ならびに収支予算の件
- その他

以上

出欠葉書(委任状を含む)送付の留意事項

- ※1. 名誉会員、功労会員、学生会員には定款により議決権がないため、出欠葉書は同封されておりません。
- ※2. 学術集会にご参加の場合でも、この社員総会(約1時間)をご欠席される場合は、「欠席」となり、委任状のご提出が必要となります。
- ※3. 委任状は本人の署名、捺印(原則サインは不可)の両方が揃わない場合、無効となり再提出をお願いすることとなります。
- ※4. 提出期限は11月5日(月・必着)です。

2. 日本病理学会誌第107巻2号(学会抄録号)について

- 標記学会抄録集を会員向けに公開いたしました。会員専用HP(UMIN-IDとパスワードが必要です)
https://center6.umin.ac.jp/oasis/pathology/pdf/sokai_program_181018.pdf
会員システム内よりダウンロード(会員番号とパス

ワードが必要です)

<https://member.pathology.or.jp/product/Cmn/WapCmn01P01.aspx>

- 名誉会員・功労会員の先生方には、PDFデータをUSBメモリの形で郵送いたします。11月初旬頃到着予定です。

- 冊子体(印刷物)抄録集は有料となります。総会会場にて販売いたします。

会員 1冊 ¥1,000- 非会員 同 ¥2,000-

- 冊子体の郵送送付を希望の方は下記に従いお申し込みください。

① 申し込み・問い合わせ先

日本病理学会事務局

E-mail: jsp-admin@umin.ac.jp

② 申し込み方法

「日本病理学会誌107巻2号購入希望」と件名に明記の上、以下の情報をe-mailにてお送り下さい。

- 会員番号(非会員の場合はその旨を記載)

2. 氏名

3. 所属

4. 冊数

5. 送付先 ※会員は原則学会登録住所となりますので不要です。

③ お支払い

冊子に郵便振替用紙を同封しますので、到着から2週間以内に郵便局よりお振り込み下さい。請求書払等を希望される場合はその旨、お申し込み時にお知らせ下さい。

④ 発送時期

11月初旬頃より順次発送予定です。大会の事前送付をご希望の場合は、11月12日までにお申し込み下さい。

3. 【厚生労働省より】「医療法及び医師法の一部を改正する法律」の一部の施行に伴う医師法施行規則の一部を改正する省令の施行について

厚生労働省より10月15日付で通知ならびに周知依頼がまいりましたので、お知らせいたします。詳細は以下HPよりをご確認ください。

参照HP:

<http://pathology.or.jp/news/whats/post-20180732.html>

4. Pathology International ご投稿のお願い

Pathology International は 1951 年に創刊された日本病理学会の公式月刊英文学会誌です。最新のインパクトファクター（2017 インパクトファクター）は 1.742 となり、昨年より上昇いたしました。

Pathology International の実績は…

* オンライン閲覧（フルテキスト）年間約 12 万回

* 投稿は世界 20 以上から

* 全世界でおよそ 5,800 以上の機関が購読

* 論文の投稿から初回判定まで平均 29 日間

などとなっております。会員の皆様方からのご投稿をお待ち申し上げております。病理学会会員専用の UMIN-ID とパスワードで電子閲覧ができ、ご投稿も電子投稿システムを通してオンラインから可能です。

<http://pathology.or.jp/kankoubutu/jour-pin.html>

投稿規定など詳細はジャーナル・ホームページをご覧ください。

<https://onlinelibrary.wiley.com/journal/14401827>

5. 「献血血液等の研究開発等での使用に関する指針」に基づく公募の実施について（周知依頼）

厚生労働省医薬・生活衛生局血液対策課長より、標記について周知依頼がありましたので、お知らせいたします。

詳細は HP をご確認ください。

参照 HP:

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000066782.html>

6. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

嶋田 裕之 功労会員（平成 29 年 8 月 19 日ご逝去）

高木 敬三 功労会員（平成 30 年 7 月 29 日ご逝去）

小島 勝 学術評議員（平成 30 年 10 月 21 日ご逝去）

お知らせ

1. 第 30 回日本医学会総会 2019 中部分科会応援早割について

第 30 回日本医学会総会が来春開催されますが、分科会会員の方は「分科会応援早割」として、10,000 円の割引が（当日登録と比較）が受けられます。

早割期間は平成 30 年 10 月 31 日正午迄で終了いたします。詳細につきましては以下 HP をご確認ください。

参照 HP:

<http://isoukai2019.jp/registration/index.html>

2. 第 60 回藤原賞について

標記賞につき、本学会からの推薦を希望される場合は、事前に公益財団法人藤原科学財団ホームページをご確認の上、11 月 26 日（月）までに本学会事務局宛ご連絡下さい。

参照 HP:

<http://www.fujizai.or.jp/>

3. 第 154 回日本医学会シンポジウム

テーマ: AI と医療の現状と課題

日時: 2019 年 1 月 16 日（水曜日）13:00 ~ 17:05

場所: 日本医師会館 大講堂

〒113-8621 東京都文京区本駒込 2-28-16

TEL: 03-3946-2121（代）

お申込みについては以下をご確認ください。

参照 HP:

<http://jams.med.or.jp/symposium/index.html>

4. 千里ライフサイエンスセミナー

テーマ: 「ビッグデータと人工知能医療」

日時: 2019 年 2 月 13 日（水）10:00 ~ 16:40

場所: 千里ライフサイエンスセンタービル 5 階

山村雄一記念ライフホール

参加費: 無料

プログラム:

1. 医師の画像診断を目指した機械学習研究
横田 秀夫（理化学研究所 チームリーダー）
2. 機械学習・数理学にもとづく疾患の層別化と予測
川上 英良（理化学研究所 ユニットリーダー）
3. 人工知能時代の新しい生命医学
桜田 一洋
（理化学研究所 副プログラムディレクター）
4. 深層学習による画像解析技術の飛躍と医療画像解析への応用
佐藤 真一（国立情報学研究所 教授）
5. 精神科領域における ICT や AI 技術の活用の試み
岸本泰士郎（慶應義塾大学医学部 専任講師）
6. 人工知能技術が拓く医療の未来
原 聖吾（株式会社 MICIN 代表取締役/医師）
7. データ駆動型社会における新しいヘルスケア:
AI, IoT 活用の課題と展望
宮田 裕章（慶應義塾大学医学部 教授）

お申込みについては以下をご確認ください。

参照 HP:

<http://www.senri-life.or.jp/seminar-1.html>

日本医学会だより

JAMS News

2018年10月 No.60
日本医学会

◆日本医学会公開フォーラム

日本医師会・日本医学会合同公開フォーラムは「HPV ワクチンについて考える」をテーマに、平成30年10月13日(土)13:00~17:20、日本医師会館大講堂において開催。後援：NHK。

組織委員は、藤井知行(東京大学・産婦人科学)、高橋孝雄(慶應義塾大学・小児科学)の各氏。参加申し込みは郵便はがき、FAX、本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)にて受付。参加費無料。詳細は日本医学会ホームページに掲載。

◆日本医学会シンポジウム

第154回シンポジウムは「AIと医療の現状と課題」をテーマに、平成31年1月16日(水)13:00~17:05、日本医師会館大講堂において開催する。

組織委員は、大江和彦(東京大学・医療情報学)、竹内 勤(慶應義塾大学・リウマチ・膠原病内科学)の各氏。参加申し込みは郵便はがき、FAX、本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)にて受付中。参加費無料。詳細は日本医学会ホームページに掲載中。

◆医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を平成30年8月31日(金)に開催し、平成30年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会委員ならびに特例委員が、今年度の推薦数：

医学賞24、奨励賞31を審査した。

選考の結果、11月1日(木)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は3名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

〈日本医師会医学賞〉

- ・脳機能を支えるシナプスの機能発達、可塑性および伝達修飾の研究/狩野方伸(東大・神経生理学)
- ・大規模コホート研究の推進と日本人のエビデンスに基づいたがん予防法の提言/津金昌一郎(国立がん研究センター社会と健康研究センター)
- ・緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)の成因、診断、および発症・進展阻止治療に関する研究/小林哲郎(冲中記念成人病研究所)

〈日本医師会医学研究奨励賞〉

- ・慢性炎症における肺線維化機構の解明と病態制御基盤の構築/平原 潔(千葉大・免疫発生学)
- ・臓器間連携を介した新規心臓恒常性維持機構の解明による新規診断・治療法の開発/藤生克仁(東大・先進循環器病学)
- ・健康長寿を目指したアンドロゲン受容体を介する遺伝子発現制御機構の統合的同定解析/高山賢一(東京都健康長寿医療センター研究所)
- ・ヒト新生児が有する脳傷害後のニューロン移動メカニズムの解明と再生促進の実現化/神農英雄(名市大・新生児・小児医学)
- ・大腸癌転移における炎症性サイトカインの機

能解析/谷口浩二（慶大・微生物学・免疫学）

- ・シングルセルRNAseqを用いた角膜移植における制御性T細胞の可塑性の解析/猪俣武範（順天堂大・眼科学）
- ・行動科学理論に基づく情報通信技術を活用した健康格差是正手法の開発と効果検証/近藤尚己（東大・健康教育・社会学）
- ・災害医療情報の国内・国際標準化/久保達彦（産業医大産業生態科学研究所・環境疫学）
- ・光曝露の健康影響：大規模前向きコホート研究による検証/大林賢史（奈良県立医大・疫学・予防医学）
- ・細胞死からみたアレルギー性気道炎症の新しい評価法の確立/植木重治（秋田大・総合診療・検査診断学）
- ・治療難治性癌に対する脂質メディエーター標的治療の可能性の探索/永橋昌幸（新潟大・消化器外科学）
- ・「希少がん」骨軟部腫瘍のがんプレジジョンメディシンデータベースに基づいた新規治療法開発/末原義之（順天堂大・整形外科）
- ・嗅上皮障害後の修復過程におけるインスリンの役割の解明/菊田 周（東大・耳鼻咽喉科学）
- ・初期胚発生の遺伝子発現機構を介した胚性の不妊症の病態解明と再生医療の開発/山田満稔（慶大・産婦人科学）
- ・皮膚線維化疾患におけるyRNAの関与の研究/神人正寿（和歌山医大・皮膚科学）

◆「遺伝子・健康・社会」検討委員会

第17回委員会を平成30年10月5日（金）に開催した。

◆平成30年度日本医学会分科会用語委員会

本年度は平成30年12月18日（火）14:00～16:00, 日本医師会館大講堂にて開催予定である。

◆日本医学雑誌編集者会議（JAMJE） ならびに日本医学会分科会利益相反 会議合同シンポジウム

第2回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）ならびに日本医学会分科会利益相反会議合同シンポジウムを平成30年11月6日（火）13:00～16:35, 日本医師会館大講堂にて開催する。シンポジウムテーマは「医学研究公表のためのコンプライアンス」で、総会に引き続き、6名の演者による講演と総合討論が行われる予定である。

◆日本医学会公開シンポジウム「適切な遺伝学用語のあり方」

平成30年12月11日（火）13:00～17:00, 日本医師会館大講堂にて標記シンポジウムの開催を予定している。昨今の分子遺伝学研究的飛躍的な発展により、ゲノム医療においても多くの遺伝学用語が用いられている。医学用語管理委員会では適切な医学用語について常に検討をしているが、遺伝学用語についてはさまざまな分野が関連していることから、平成29年12月、委員会の下に「遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ」を立ち上げ、遺伝学用語のあり方について検討を重ねてきた。

今回のシンポジウムは公開シンポジウムとして「優性」「劣性」という2つの用語に絞って検討する。分科会、国語学・教育学の分野、マスメディア、患者関係者の方々に演者に招き、適切な用語に意見集約することを目的としている。

◆日本医学会定例評議員会

第86回日本医学会定例評議員会を平成31年2月22日（金）14:00～16:00, 日本医師会館小講堂にて開催予定。主な議題は1. 平成30年度年次報告, 2. 平成31年度事業計画, 3. 日本医学会新規加盟学会の件, 4. その他である。